

# 令和6年度社会福祉法人滝沢市社会福祉協議会事業報告書

## I. はじめに

令和6年度事業計画は、令和4年度に策定した「第3期滝沢市地域福祉活動計画」（令和5年度～令和9年度）における各年度の実施計画として計画し事業を進めました。新型コロナウイルス感染症は、コロナとの共存社会へと移行し、未だに感染リスクを含む社会への影響を残しており、感染予防の対策を講じながら事業を実施しました。基本目標の実施状況及び各事業の取組結果は以下の通りです。

### 1. 人材づくり「支え合いの心を育て地域福祉の醸成を図ります」

地域福祉の考え方や地域福祉活動の周知・啓発では、「福祉ボランティアまつり開催事業」と、ユニバーサルスポーツを通じた交流事業として「ハートフルピクニック」を開催し、地域福祉の周知・啓発を図りました。「広報誌、たきざわ社協だより「福祉おもしろいやり」の発行」「ホームページの運営」によりの確な情報提供に努めるとともに、滝沢市における地域福祉の更なる充実を期すことを目的に、「社会福祉大会」を5年ぶりに参加人数の制限を解除して開催しました。

また、「キャップハンディ(障がい疑似)体験学習の普及活動」「障がい者等支援ボランティア入門講座開催事業」などを実施し、子どもから大人まで広く、人権意識の啓発、福祉教育の推進及び地域福祉の担い手育成を実施しました。「社会福祉作文コンクール開催事業」は本年度も多くの児童生徒に参加いただき、社会福祉大会において最優秀賞受賞者への表彰及び本人による作品の朗読を行いました。

### 2. 仕組みづくり「地域課題の発見から解決までの機能の充実を図ります」

課題の共有と連携による解決では、「生活支援体制整備事業の推進」「ご近所支えあいマップの作成、活用支援」等を通じ、地域住民の方々との意見交換により、生活支援ニーズを把握し、住民福祉活動の促進を図りました。また、「生活福祉資金の貸付事業」「たすけあい資金貸付事業」では資金の貸付と必要な相談・支援を行うとともに、償還指導にも取り組みました。

身近な地域で安心して相談できる総合相談体制づくりでは、専門家が法律や相続・登記に関する相談に応じる「安心生活相談事業」と日常生活の悩みや心配ごとの相談に応じる「くらしの相談所開設事業」を実施しました。

地域における支えあいの仕組みづくりでは、「子育てサロンチャチャチャの開設」を3地区で実施し、「滝沢市つながり・つながるフードパントリープロジェクト」を、民生委員児童委員、市民ボランティア等の参加・協力のもと2回実施しました。

生活困窮者の支援体制の構築では、「自立相談支援事業」「就労準備支援事業」「家計改善支援事業」「住居確保給付金事業」に加え、「生活用品提供事業」「日中活動支援プログラム」などの自主事業を実施し、課題解決を早期に図り、自立の促進を支援しました。

権利擁護の推進では、「日常生活自立支援事業基幹社協業務」により専門員と支援員を配置し、日常生活上の判断に不安のある方が安心して生活できるよう金銭管理等の支援を行ったほか、ご自身の死後の諸手続き等を支援する「エンディング支援事業」の事業化の検討を進めるとともに、相続に関する講演会を実施しました。

安心して生活を続けることができるための支援体制づくりでは、高齢者の社会的孤立を防ぎ介護予防に繋げるために「滝沢市睦大学運営事業」を実施し、教養講座と28の趣味の教室を通じた仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを進めました。

### 3. 地域づくり「地域で活躍する個人・組織を支え地域福祉の活性化を図ります」

身近な地域で支えあう「お互いさま」のまちづくりでは、「地域福祉ゆいづくり事業」を通じ、13地区において、住民相互の助け合いにより、一人暮らし高齢者や障がい者の見守りや家事の手伝いなどを行う、住民参加の生活支援活動の推進を支援しました。

防災・災害時における支援活動の推進では、令和6年7月大雨災害に際し、山形県酒田市に災害ボランティアセンター運営支援のため職員2名を派遣しました。

地域住民による活動への支援では、民生委員児童委員との連携を強化し、様々な本会事業を通じ地域福祉の活性化を図りました。

ボランティア・福祉団体等の活動育成・支援では、福祉関係団体の運営、事務補助等を通じて活動を支援しました。また、「滝沢市市民福祉センター指定管理者」として、より市民に親しまれる施設を目指し適切な施設運営に努めるとともに、自主事業として講座開催に取り組みました。

### 4. 組織づくり（中期経営計画）「地域福祉を推進するための基盤強化を図ります」

社会福祉協議会の充実強化に向けてでは、定款・諸規定に則り、理事会・評議員会・監事監査を開催するとともに、一般事務費や自主事業の見直しによる経費節減に努め、多くの市民・企業・事務所・商店等のご理解・ご協力のもと、会費収入、寄附及び共同募金配分金などの自主財源の確保に努め、適正な運営に取り組みました。なお、本会組織の『人財』強化及び関係機関との連携強化については、引き続き取り組みを進めて参ります。

## II 事業計画の取組結果

### 1. 人材づくり「支え合いの心を育て地域福祉の醸成を図ります」

#### (1) 地域福祉の考え方や地域福祉活動の周知・啓発

##### ① 福祉ボランティアまつり～みんなでつくるバリアフリーのこころ～開催事業（滝沢市補助事業）

障がいへの理解を深めるとともに、身近な地域での福祉活動への積極参加を呼び掛けることを目的に「みんなでつくるバリアフリーのこころ」をテーマに、福祉関係機関・団体やボランティアグループ等が一堂に会し、日頃の活動内容や成果の発表、障がい者等の理解を深めるための体験・展示を行いました。

開催日	令和6年10月12日(土)	会場	ビッグルーフ滝沢
来場者数	約2,000名（参加団体、従事者・ボランティア含む）		
内容	・基調講演「あなたも“分身ロボット”でお仕事？」 （講師：一般社団法人北斗七星 川下真由美氏） ・施設やボランティアグループ等によるステージ発表 ・キャップハンディ体験、ニュースポーツ体験コーナー ・健康コーナー ・市内の福祉団体、ボランティア団体、就労支援事業所等による体験・販売コーナー ・参加団体による活動PR		

##### ② ハートフルピクニック（障がいのある方とボランティアの交流）開催事業

障がいをお持ちの方とボランティアが一堂に会し、ユニバーサルスポーツを通じた参加者相互のふれあいの場として交流の幅を広げることを目的として開催しました。

開催日	令和6年11月28日（木）	会場	滝沢総合公園体育館
参加者数	80名 ・障がい者当事者とその家族34名 ・サポートボランティア（事務局含む）46名		

### ③ 広報誌、たきざわ社協だより「福祉おもしろい」の発行

「支え合い」「お互いさま」の地域づくりに向けて、多くの市民が主体的に地域福祉活動に参加できるよう、身近な地域で行われている福祉活動に関する情報発信として広報誌発行を行いました。

広報誌発行	年6回発行（市内全戸配布 1回あたり平均22,713部） ※視覚障がい者への情報支援として、広報誌の音声訳・点訳版を、朗読ボランティアサークルこだま、点訳サークルステップの協力により作成しました。
-------	---

### ④ ホームページの運営

「支え合い」「お互いさま」の地域づくりに向けて、多くの市民が主体的に地域福祉活動に参加できるよう、身近な地域で行われている福祉活動に関する情報発信としてホームページの運営を行いました。

ホームページ運営	年間を通じ、随時掲載情報の更新を行いました。
ホームページのアクセス数	1,624件（月平均）

### ⑤ 社会福祉大会の開催

市民の福祉に対する意識啓発と地域の福祉課題の共有を図り、地域福祉の更なる充実を期すことを目的に、社会福祉の発展に寄与された方々の表彰、福祉作文コンクールの表彰・作品発表、記念講演等を行いました。

開催日	令和6年11月23日（土）	会場	滝沢ふるさと交流館
参加者	約280人		
内容	【社会福祉事業に貢献した方々・団体への表彰】（敬称略）		
	社会福祉団体役職員	佐藤浩一	
	民間社会福祉施設役職員	高橋文子、菊池伸洋、三上久美子、佐々木久美子、 畠山小百合、渡辺裕子、佐々木美紀、工藤美和	
	社会福祉協議会多年寄附団体	滝沢市地域婦人協議会、社会福祉法人滝沢市保育協会	
	社会福祉協議会特別会員	株式会社上の島	
	優良社会福祉地区	滝沢パークタウン自治会	
	共同募金運動功労者	齊藤健二	
	褒賞	佐々木禮子	
	感謝	滝沢市老人クラブ連合会	
	【社会福祉作文コンクール表彰式、各部門最優秀作品の朗読発表】		
	【記念講演】 テーマ：「地域づくりのお悩み解決!担い手不足解消に向けたヒントを」 講師：合同会社フォーティR&C代表 水津陽子氏		

## (2) 人権意識の啓発

### ① 学校や地域でのキャップハンディ（障がい疑似）体験学習の普及活動（滝沢市補助事業）

市内の小中高等学校の児童生徒及び一般市民を対象に実施しました。学習の指導には登録の市民ボランティアおよびボランティアグループの協力のもと行ないました。

体験内容	実施状況
白杖、ニュースポーツ、福祉のお仕事紹介	学校 22 回、一般 15 回
点字、手話	学校 15 回
協力者：ボランティア延べ 67 名 協力団体：手話サークルわすれな草、西部点字パソコンサークルステップ、社会福祉法人千慈会 瑞雲荘、社会福祉法人やまゆり会 みのりホーム、社会福祉法人松実会 ケアハウス巣子、特定非営利活動法人今が一番館、社会福祉法人滝沢市保育協会、滝沢市人権擁護委員、滝沢市身体障害者福祉協会、滝沢市スポーツ推進委員協議会、滝沢市民生児童委員連絡協議会、滝沢市老人クラブ連合会	

## (3) 福祉教育の推進

### ① 社会福祉協力校育成事業

児童生徒の社会福祉への理解と関心を高めることを目的に、市内の全小中高等学校を社会福祉協力校として指定し、各校が行う福祉活動への支援に取り組みました。

活動費助成	市内小中高等学校 12 校 助成額 359,370 円
福祉協力校連絡会の開催	令和 7 年 2 月 27 日（木） 市内 9 校 教員 9 名参加
プログラムのメニュー数	10 本

### ② 社会福祉作文コンクール開催事業

次代を担う児童生徒の社会福祉への理解と関心を高め、家庭・地域・学校等日常生活の中で積極的に地域福祉活動に参加する意識を啓発・育成することを目的に、福祉に関することをテーマとした作文を募集しました。審査会を経て入選した作品を纏めた文集を発行しました。

コンクール参加：市内 13 校 応募作品数：1,935 編	
【最優秀賞】8 名	
小学 1 年生	篠木 谷藤 由菜
小学 2 年生	篠木 高橋 杏奈
小学 3 年生	一本木 古川 幸来
小学 4 年生	滝沢第二 高杉 暖
小学 5 年生	滝沢中央 佐藤 愛梨
小学 6 年生	滝沢 大村 竜慶
中学生	滝沢 1 年 児玉 ゆいか
高校生	盛岡農業 3 年 渡邊 友仁
【優秀賞】16 名<氏名省略>	
【佳作】20 名<氏名省略>	

## (4) ボランティアや地域福祉の担い手の養成・育成

### ① 障がい者等支援ボランティア入門講座の開催（滝沢市補助事業）

障がいに対する理解を深め、それぞれの障がい特性の基礎や必要な支援について体験を通じて学び、ボランティア活動への参加を促すための、ボランティア活動者の裾野を拡げる入門講

座として開催しました。

内容	受講者数
第1回キャップハンディ体験学習サポートボランティア養成講座	4名
筆談ボランティア養成講座（入門編）	7名
障がい理解講座（テーマ：医療的ケア児）	17名
第4回ユニバーサルスポーツサポーター養成講座（卓球バレー）	11名
障がい理解講座（テーマ：災害時の障がい理解）	38名
障がい理解講座（テーマ：精神障がい）	11名
福祉有償運送運転ボランティア養成講座	1名
ボランティア新規登録者数	11名

## ② ボランティア活動センター事業

「誰もが安心して暮らせる地域づくり」に向けて市民の地域福祉活動への参加と協働を推進することを目的に、福祉ボランティア活動に参加を希望する個人・団体登録、ボランティアを必要とする人と活動希望者との調整（コーディネート）、ボランティア活動保険の加入手続きを行いました。

個人ボランティア登録：154名　ボランティア団体登録：39グループ
ボランティア活動のコーディネート ・ボランティア派遣　派遣件数　20件　ボランティア数延べ20名 ・ボランティア登録　12名
・ボランティア活動保険の加入受付　763名　279,550円 ・ボランティア活動行事保険の加入受付　33件　81,424円 ・福祉サービス総合保障保険の加入受付　2件　11,481円
・運営委員会の開催　開催なし
・ボランティア団体情報交換会（零石町社協ボランティア活動センターとの共催） 趣旨　ボランティア団体会員が、活発に活動している他市町村のボランティア団体と日頃の活動の様子をはじめ情報や経験を共有することで、他の団体に有益な情報やアイデアを提供し、互いに学び合い、活動の活性化を図ることを目的に実施する。 期日　令和7年3月5日（月） 会場　零石町総合福祉センター　大会議室 内容　各ボランティア団体の活動紹介、質疑応答、意見交換 参加　滝沢市社協ボラセン登録団体7団体　13名 精神保健ボランティアあんずの会、ボランティアサークルあおぞら、朗読ボランティアサークルこだま、かみのやまボランティアの会、傾聴ボランティアもりおか滝沢班、かざばやしボランティアの会、ゆいっこ

## 2. 仕組みづくり「地域課題の発見から解決までの機能の充実を図ります」

### （1）課題の共有と連携による解決

#### ① 住民福祉座談会等の開催

社会福祉協議会職員と各地域の福祉活動関係者が、お互いに、地域の福祉課題や生活課題および地域の実情について理解を深めるとともに、解決に向けた取り組み方法等の検討や情報・意見交換を行いました。

実施地区、開催数、 参加者数	4地区 5回 参加者延べ57名 大沢自治会ゆいづくり (2回 26名参加) 滝沢ニュータウンゆいづくりの会 (1回 15名参加) 土沢・ゆとりが丘ゆいの会 (1回 9名参加) 元村西自治会ゆいづくりの会滝の沢 (1回 7名参加)
-------------------	--

## ② 生活支援体制整備事業の推進（滝沢市委託事業）

介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、住民同士の互助の力を増進し、地域の支え合いを強めていくために第2層生活支援コーディネーターを1名配置し、生活支援ニーズの把握、関係者とのネットワークの構築を進めました。

地域のサロン等への訪問活動・資源調査	158回
地域の会合への出席	15回
地域支援活動等	13回
地域支え合い連絡会への出席	2回
地域包括支援センター関係会議への出席	20回
その他関係会議への出席	16回
個別ニーズへの支援	18件

### 【生活支援体制整備事業市民団体向け説明会の開催】

内 容：事業説明と地域内での支え合いの必要性について啓発する。

対象	日程	会場	参加者数
滝沢市老人クラブ連合会指導者研修会	9月11日（水）	八幡平ハイツ	40名

### 【第2層協議体「滝沢これからカフェ」の開催】

内容：地域内における支え合いの必要性について啓発することを目的に、市内南部地区及び中部地区の中学校区単位において、参加者による意見交換を行いました。

対象	日程	会場	参加者数
滝沢中学校区	8月27日（火）	滝沢ふるさと交流館	8名

## ③ ご近所支えあいマップの作成、活用の支援

民生児童委員、ゆいづくり事業実施自治会等との協働により、地域で支援が必要と思われる人を中心に普段からの近隣住民の関わり方の状況を地図に落としこみ、視覚化することで、地域の支え合いの実態の把握や地域の福祉課題の掘り起こしにつなげました。

実施地区	4地区（43か所） 大沢自治会ゆいづくりの会（3か所確認・作成） 滝沢ニュータウンゆいづくりの会（4か所確認・作成） 土沢・ゆとりが丘ゆいの会（1か所確認・作成） 元村西自治会ゆいづくりの会滝の沢（35か所確認・作成）
------	---

## ④ 生活福祉資金の貸付事業（岩手県社協委託事業）

経済的に困窮している世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等の相談対応にあたり、必要な世帯へ「生活福祉資金（岩手県社協の貸付）」の貸付を行い、世帯の生活改善に向けての支援を実施しました。

相談対応件数	276件
件数・金額	生活福祉資金 50件 貸付額：22,161,000円
償還指導	個別訪問 57件

生活福祉資金償還指導面接会
①日 時 令和6年8月16日（金）
会 場 滝沢市市民福祉センター
従事者 滝沢市社会福祉協議会 6名、岩手県社会福祉協議会 4名
面 接 12名（来所7名、訪問5名）
②日 時 令和7年1月30日（木）
会 場 滝沢市市民福祉センター
従事者 滝沢市社会福祉協議会 6名、岩手県社会福祉協議会 4名
面 接 11名（来所6名、訪問5名）
生活福祉資金コロナ特例貸付フォローアップ支援
生活福祉資金コロナ特例貸付の利用者で償還開始後一度も償還の無い世帯や償還が円滑に進んでいない世帯を対象に、生活状況を聞き取りながら、償還猶予・免除申請等必要な支援に繋げることを目的とした個別訪問活動を行い、生活状況等を聞き取ったうえで償還猶予申請や免除申請等といった必要な支援に繋げた。
訪 問 50世帯

### ⑤ たすけあい資金貸付事業

経済的に困窮している世帯の相談対応にあたり、必要な世帯へ「たすけあい資金（滝沢社協の貸付）」の貸付を行い、世帯の生活改善に向けての支援を実施しました。

たすけあい資金	貸付件数：4件 貸付額：330,000円 償還件数：37件 償還額：363,000円
貸付残高	貸付件数：31件 貸付残額：1,928,500円
償還指導訪問活動件数	9件

### ⑥ ノーバディーズ・パーフェクト・プログラムの開催

講師確保の目途が立たないため、活動は一旦中止していましたが、岩手県母子父寡婦福祉連合会から依頼があり、プログラムの内容や効果について講話を行いました。また、子育て中の保護者の孤立や育児不安の解消といった地域の福祉課題への取り組みについても、引き続き検討していきます。

令和6年度家庭生活支援員養成研講座	開催日：令和6年11月22日（火） 会 場：市民福祉センター 内 容：「ノーバディーズ・パーフェクトの基本的な考えとプログラム」について 主 催：岩手県母子寡婦福祉連合会 参加者：7名
-------------------	--

### （2）身近な地域で安心して相談できる総合相談体制づくり

#### ① 安心生活相談事業（弁護士による法律相談、司法書士による相続・登記相談）（滝沢市委託事業）

弁護士や司法書士による無料の法律相談、相続・登記相談を開設しました。

弁護士による法律相談	会場：市民福祉センター 開催回数 24回 相談件数：81件
司法書士による相続・登記相談	会場：市民福祉センター 開催回数 12回 相談件数：50件

## ② 暮らしの相談所開設事業

市民の心配ごと・悩みごとの相談に応じるため、民生児童委員、人権擁護委員、行政相談員等による暮らしの相談員を委嘱し、定期的に相談所を開設しました。

定例相談（第2・4火曜日）	会場：市民福祉センター 開催回数 23回 相談件数：22件
---------------	----------------------------------

### (3) 地域における支えあいの仕組みづくり

#### ① ファミリー・サポート・センター事業の運営（滝沢市委託事業）

子育て中の世帯を支援するため、アドバイザー1名を配置し、一時的に託児等の支援を必要とする市民と支援活動に協力する市民による、会員登録制の子育て援助活動の調整(コーディネート)、会員の育成や交流を図る講習会等を実施しました。

<b>【会員登録・活動状況】</b>			
令和6年度依頼会員登録	47名	依頼会員総数	512名
〃 提供会員登録	11名	提供会員総数	75名
〃 両方会員登録	1名	両方会員総数	22名
登録会員総数			609名
<b>【援助活動件数】</b>			
保育園・幼稚園、学童、学校等の送り迎え、帰宅後の預かり他			203件
<b>【講習会等開催状況】</b>			
提供会員講習会	2回開催	受講者数	13名
救命救急講習会	2回開催	受講者数	18名
ミニ講習会	4回開催	受講者数	47名
スキルアップ講習会	3回開催	受講者数	13名
事業説明会	8回開催	市立小学校7校で行われた就学児健診及び入学説明会の際に事業説明・新規会員登録を行いました。	
	12回開催	市民福祉センターで行われた乳児健診の際に事業説明・新規会員登録を行いました。	
会員交流会	1回開催	参加者数	14名
<b>【情報誌 Happy の発行】</b>			
年4回（5/15、8/1、11/1、2/1）			

#### ② 子育てサロン「チャチャチャ」の開設（旧親子サロン「チャチャチャ」の開設）

子どもの健やかな成長と、地域の子育て環境の整備・支援、育児中の保護者の孤立防止を目的として、民生児童委員をはじめとする市民ボランティアの協力により、身近な地域で子育て中の保護者が集い、交流することのできるサロンを開催しました。

実施地区	3か所：鶴飼地区、元村地区、菓子地区
会場、開催回数、参加者等	鶴飼地区 会場：市民福祉センター 開催回数：21回 参加者数：保護者と子ども延べ63組 137名 ボランティア協力者延べ75名 協力団体：滝沢市南部地区民生児童委員、滝沢市主任児童委員、個人ボランティア、滝沢市地域婦人協議会
	元村地区 会場：ふるさと交流館

	開催回数：11回 参加者数：保護者と子ども延べ34組 82名 ボランティア協力者延べ72名 協力団体：滝沢市中部地区民生児童委員、滝沢市主任児童委員、個人ボランティア、滝沢市地域婦人協議会
菓子地区	会場：葉の木沢山活動センター
	開催回数：12回 参加者数：保護者と子ども延べ15組 33名 ボランティア協力者延べ38名 協力団体：滝沢市北部地区民生児童委員、滝沢市主任児童委員、個人ボランティア

### ③ たきざわこども食堂活動支援事業（旧たきざわこども食堂の運営）

市内において市民が主体的に取り組む形でこども食堂が広がることを支援するため、活動団体への活動助成金を設けましたが、今年度は申請がありませんでした。

### ④ 滝沢市「つながり・つながる・フードパントリープロジェクトの実施」

普段から家事や食費等の負担が大きいひとり親世帯への支援活動を通じて、孤立を防ぎ地域で人と人とが繋がることを主たる目的として、市内の企業や寺院、個人または団体のボランティア等の協力により、ひとり親世帯へ食料品を配布しました。活動資金は民間助成金および市内外の個人・団体からの寄附金により賄いました。

対 象	民生児童委員が把握している市内在住のひとり親世帯のうち、本プロジェクトによる支援が必要と思われる世帯へ周知	
配 布	第1回 令和6年7月25日	101世帯へ186名分の食料品配布
	第2回 令和6年12月21日	95世帯へ174名分の食料品配布
寄附等	食料品等	精米、菓子、レトルト等食品、衛生用品、日用品他 寄附者：東林寺、清雲院、滝沢市保育協会、滝沢市地域婦人協議会、いわて生協、JA新岩手滝沢支所、滝沢市商工会、滝沢市商工会女性部、山崎製パン(株)仙台工場岩手営業所、COOPフードバンク、いわて女性のスペース・ミモザ、滝沢市内外の個人
	活動資金	現金の寄附 11件 911,600円 東林寺、滝沢市商工会女性部、滝沢市老人クラブ連合会、滝沢市内の個人延べ6名 活動資金助成 1件 362,048円 岩手県共同募金会

### ⑤ 小地域生活援助活動支援事業（旧会員制互助型援助活動事業（お助け便））

市内において、小地域内で住民相互に行われる生活援助活動が、市民が主体的に取り組む形で広がっていくことを支援するため、活動団体へ活動助成金を交付しました。

滝沢社協に登録する、小地域での生活援助活動を行うボランティア活動団体	交付件数 1件 交付額 5,000円 主な活動内容：草刈り他生活援助活動
------------------------------------	---

### ⑥ いわて“おげんき”見守りシステム（電話回線・インターネットによる高齢者見守りシステム）

民生児童委員をはじめ地域住民の協力のもと、岩手県社協が運用する電話機とパソコンを活用した見守りシステムにより、ひとり暮らし高齢者等の安否確認を行いました。

利用者数	76名（令和6年度新規利用者数 16名）
------	----------------------

協力者数	147名（民生児童委員53名、近隣住民等3名、別居親族91名）
安否情報の確認回数	20,332回 （元気：17,541回、少し元気：2,724回、悪い：39回、話したい：28回） 対象者宅訪問回数21回（新規登録・安否確認等）

⑦ 買い物支援事業（旧買い物支援事業「まごころ宅急便」）

滝沢市内で移動販売を行う「みかわや」や「とくし丸」、「よつばマルシェ」等、買い物支援につながる情報収集に努めました。

⑧ 歳末たすけあい募金配分事業

滝沢市社協、滝沢市共同募金委員会、滝沢市民生児童委員連絡協議会の3団体が主唱団体となり、共同募金運動の一環である「滝沢市歳末たすけあい運動」として市民、市内企業・事業所およびその勤務者、学校の児童・生徒等から広く寄附を募り、支援や援助を必要とする方へ激励金を交付しました。

歳末激励金の交付件数	554件	
交付金額	3,376,000円	
【内訳】		
遺児	0件	0円
母子・父子世帯の子ども	188件	940,000円
重度障がい児・者	47件	235,000円
ひとり暮らし高齢者	134件	670,000円
生活困難世帯の子ども	41件	205,000円
生活困難世帯の世帯主	21件	105,000円
在宅重度障がい者等介護人	64件	320,000円
被災世帯	0件	0円
福祉施設入所児童	14件	70,000円
施設配分	41件	751,000円
地域福祉配分	4件	80,000円

（４）生活困窮者の支援体制の構築

① 生活困窮者自立支援事業（滝沢市委託事業）

ア 自立相談支援事業

複合的な生活課題を抱えた経済的に困窮している世帯やその恐れのある生活困窮者に対し、専門の相談員が必要となる各種制度の利用援助を個別に支援し、アウトリーチも含めた伴走型の相談・支援を行うことで、抱えている問題の解決を図り、自立の促進につなげました。

【相談支援】		
令和5年度からの継続者数	111人	
令和6年度の新規相談者数	141人	
〃 終了者数	139人	就労開始者13人 自己破産等債務整理17人 生活保護開始者15人 他機関へつなぐ44人 生活安定 （家計、収入、健康、家族関係等）24人 その他（転居、辞退、死亡）26人

令和7年度への継続者数	113人
-------------	------

<b>【支援調整会議】</b>		
支援調整会議開催回数	12回	
支援計画作成者数	73人	新規計画 28人 再プラン 45人
支援計画終了者数	24人	①就労開始者 2人 ②職場定着・収入安定 3人 ③家庭環境の安定 8人 ④生活保護開始者 4人 ⑤他機関へつなぐ 3人 ⑥転居 1人 ⑦その他 2人 ⑧死亡 1人
令和7年度への継続者数	16人	

食糧支援（生活保護受給者含む）	68人（延べ159件）
こども応援定期便（フードバンク岩手）	申請者：7人 対象：子育て中の困窮世帯 内容：定期的な食糧配達支援 期間：6か月または1年間

## イ 就労準備支援事業

就労収入が得られていないことが要因で経済的な課題を抱えている方の場合、長期間にわたって仕事に就いていない、コミュニケーションに自信がない、生活のリズムが整っていないなど、就労にいたる前の段階で様々な悩みを抱えている人も少なくありません。

そのような方に対し、それぞれのペースに合わせた支援プランを作成し、就労に向けた支援や就労機会の提供等を行いました。

前年度からの継続者数	3人
決定人数	4人
終了者数	4人
令和7年への継続者数	3人

## ウ 家計相談支援事業

家計状況の「見える化」を図り、困窮状態になっている原因を明確にします。その状況に応じた支援計画の作成、経過管理、相談支援、必要に応じて貸付や関係機関へのつなぎ等を行い、相談者自身が家計を管理できるよう早期の生活再生を支援しました。

前年度からの継続	5人
決定件数	5人
終了者数	5人
令和7年への継続	5人

## エ 住居確保給付金相談・受付

主たる生計維持者が離職・廃業後2年以内である場合、もしくは個人の責任・都合によら

ず給与等を得る機会が、離職・廃業と同程度まで減少している場合において、一定の要件を満たした場合、市区町村ごとに定める額を上限に実際の家賃額を原則3か月間（延長は2回まで最大9か月間）支給するものです。相談受付と事業申請業務を担当し生活困窮者の家賃補助に対する支援を行いました。

相談人数	12人
決定人数	3人
令和7年への継続	0人

## ② 生活困窮者自立支援事業（自主事業）

### ア 生活用品提供事業

生活困窮者の自立更生の一助とすることを目的に、市内の就労継続支援B型事業所と協力連携し、中古生活家電を回収後、内外部の清掃と管理保管を行い、生活困窮者への無償提供（配達・自宅への設置を含む）を行いました。

回収台数	31台
提供件数／台数	7件／15台

### イ 日中活動支援プログラム

引きこもり状態や社会とのつながりが希薄な方、求職中の方が集まり、毎月1回2時間程度、ボランティア活動の一環として使用済切手の切り取り作業と簡単メニューの調理実習を行い、昼食会を行いました。活動を通じ、参加者間の交流とボランティア活動に対するやりがいやが育まれています。

開催回数	10回
参加人数	17人 (延べ46人)
使用済切手総重量	5.0kg

※使用済切手の提供元

市内各障がい者支援施設、市役所（生活福祉課、地域福祉課、地域包括支援センター、教育総務課等）、市内企業、市民の方々

### ウ どこでも訪問診察事業

経済的困窮・社会的孤立等の理由により、医療サービスが必要と思われるにもかかわらず診察を受けられない方に対し、医療機関と連携して訪問診察を行います。

訪問診察件数	0件
--------	----

### エ だれでも居住支援事業

虐待やドメスティックバイオレンス等の理由で住居を喪失する恐れのある方、また刑期を終え出所した等の理由により住居を喪失している方に対し、不動産取引業者と連携し速やかに住居の確保を行い、安心した生活が出来るよう支援することにより、生活困窮者の自立更生を図ります。

入居支援件数	0件
--------	----

## ③ フードドライブ活動の振興

「誰もが安心して暮らせる地域づくり」に向けて、生活に困窮し食品の購入が困難な状況にある市民へ「食料支援」と「相談対応」を組み合わせた支援活動を円滑に実施するために、広く市民へ家庭で眠っている食料品の寄附提供について協力を呼びかけました。提供された食料

品はすべて認定NPO法人フードバンク岩手（盛岡市）へ提供しました。滝沢市内で緊急で食糧支援を必要とする市民から相談があった際は、その都度フードバンク岩手から食料品の提供を受け、当会職員が当該世帯へ届けながら必要な相談支援を行いました。

<p>下記のフードポスト設置場所において年間随時の受け入れを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滝沢市役所 ・滝沢ふるさと交流館 ・ビッグルーフ滝沢</li> <li>・滝沢市市民福祉センター ・葉の木沢山活動センター ・マイヤ滝沢店</li> <li>・JR小岩井駅 地域サロン「ポラーノ」</li> <li>・滝沢市北部コミュニティセンター</li> </ul>	<p>寄せられた食料品</p> <p>総重量 878.44kg</p>
--	---

## （５）権利擁護の推進

### ① 日常生活自立支援事業基幹社協業務（岩手県社協委託事業）

滝沢市・雫石町の基幹的社会福祉協議会として、日常生活上の判断能力に不安のある方（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）が安心して生活ができるよう、専門員1名、生活支援員11名（滝沢5名、雫石6名）を配置して福祉サービスの手続き、金銭管理などの支援を実施しました。

<p>契約者数等</p>	<p><b>滝沢市 34名</b>          （認知症等高齢者9名、知的障がい者7名、精神障がい者17名、その他1名）          令和5年度からの継続契約者：31名          令和6年度の新規契約者：8名          〃 解約者：5名          延べ稼働件数：517件          相談受付件数：864件</p> <p><b>雫石町 12名</b>          （認知症等高齢者2名、知的障がい者4名、精神障がい者5名、その他1名）          令和5年度からの継続契約者：15名          令和6年度の新規契約者：2名          〃 解約者：5名          延べ稼働件数：273件          相談受付件数：96件</p>
--------------	---

### ② 成年後見制度推進事業

日常生活自立支援事業基幹社協業務と連動し、関係機関との連携・協働を通じて成年後見制度の適切な利用につなげました。

<p>支援件数</p>	<p>1件</p>
<p>相談件数</p>	<p>0件</p>

### ③ エンディング支援事業

他市町村社協の事例、民間企業のサービス等の情報収集及び市担当課と情報共有を図った。又、職員が終活アドバイザー資格取得したことから、窓口設置に向け準備を進める。

<p><b>【講座】</b>          開催日：令和7年2月19日（水）          講師：明治安田生命 盛岡支社 教育育成課長 熊谷卓巳氏          テーマ：「わたしと家族の「そうぞく」講座」          参加者：25名</p>
---

## (6) 安心して生活が続けることができるための支援体制づくり

### ① 滝沢市陸大学の運営（滝沢市委託事業）

高齢者が楽しみながら教養を高めるとともに体力の維持・向上、仲間づくりの機会を設けることを目的として、年6回の教養講座と28種類の趣味の教室を開催しました。

教養講座	6回	延310名
趣味の教室（28教室）	695回	延14,968名

### ② 訪問ふくし理容サービス事業

在宅の寝たきり高齢者・障がい者を対象に、理容店ででの散髪が困難な方の自宅へ市内の協力理容店の理容師が訪問し、散髪を行いました。事業対象者及び負担等の要綱見直しについては、引き続き検討します。

協力理容店 登録数	27店
利用者数・利用回数	25名 88回

### ③ ふれあい送迎サービス事業

車いすに座ったまま乗車できる福祉車両を運行し、通院や買い物などの外出の送迎を行う事業です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年5月より事業を中止しています。再開に向けて、新規運転ボランティア1名の研修を実施しましたが、依然運転ボランティア確保が大きな課題です。

利用登録者数	44名
利用実人数・利用回数	0名 延0回
運転・介助協力者数	0名 延0名

### ④ 車いす貸出事業

2か月を限度に、応急的に車いすが必要な市民を対象に無料貸出しを行いました。

貸出件数	90件
------	-----

## (7) 専門機関や地域住民との連携

### ① CSW(コミュニティーソーシャルワーカー)の体制整備

地域の福祉課題の解決のため、関連事業担当者と協働し、地域福祉圏域ごとにCSWを配置しました。

新規研修修了者数	0名
CSW総数	8名

## 3. 地域づくり「地域で活躍する個人・組織を支え地域福祉の活性化を図ります」

### (1) 身近な地域で支えあう「お互いさま」のまちづくり

#### ① 地域福祉ゆいづくり事業の推進

同じ地域に暮らす人誰もが安心して生活できるよう、独居高齢者や障がい者の見守り、除雪等の手伝いといった個別の生活支援を、近隣住民の助け合い活動で支援しようとする自治会等の取組みを「ゆいづくり」グループとして指定し、活動費の助成、活動への助言・協力による支援を行いました。

指定自治会	13地区 小岩井自治会、大釜上自治会、大釜南自治会、篠木自治会、大沢自治会、滝沢パークタウン自治会、上の山自治会、鶴飼温泉自治会、滝沢ニュータウン自治会、元村中央自治会土沢・ゆとりが丘地区、
-------	--

	牧野林中央・南牧野林自治会牧野林地区、元村東自治会、元村西自治会
ゆいづくりリーダー	各地区合計144名
活動費助成	13地区 356,523円

## (2) 防災・災害時における支援活動の推進

### ① 罹災援護事業（火災・不慮の災害等の被災者への援護）

見舞金交付の対象となる火災や水害などの不慮の災害に見舞われた世帯へ見舞金を交付します。令和6年度の交付はありませんでした。

### ② 災害ボランティア活動センター運営

#### (ア) 市内の災害復旧支援活動

本年度は幸い、滝沢市内において大規模災害が発生しなかったことから、災害復旧支援に係る活動はありませんでしたが、災害時を想定した訓練や研修の場に職員が参加し、支援活動に係る体制整備について学びました。しかし、災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの見直し作業については未実施です。

#### (イ) 派遣による災害復旧支援活動

令和6年7月25日に山形県酒田市で発生した大雨災害の復旧支援として、岩手県社会福祉協議会から職員派遣の打診があり、現地災害ボランティアセンターへ職員派遣を行った。

山形県酒田市災害ボランティアセンター運営支援職員派遣	
派遣先	山形県酒田市社会福祉協議会
期間	令和6年8月17日（土）から8月21日（日）まで 令和6年9月1日（日）から9月5日（木）まで
派遣職員	2名
活動内容	ボランティアの受付、活動資機材の管理、ボランティアセンターから被害現場へのボランティアの送迎、住民からの支援要請による被害現場の確認、ボランティアの作業活動の調整等

## (3) 地域住民による活動への支援

### ① 民生児童委員との連携

地域福祉の推進役である民生児童委員との連携を図り、地域の実情・住民の抱える福祉課題・生活課題の把握に努め、必要な福祉サービスの提供につなげました。

地区定例会議等への出席	33回	99名
地区会長会議への出席	9回	25名

## (4) ボランティア・福祉団体等の活動育成・支援

### ① 地域福祉活動助成事業

地域における福祉活動の積極的な推進に向けて、福祉意識の向上と活動の活性化を図ることを目的に、各種団体等が地域で行う自主的な福祉活動を支援する活動助成金を交付しました。

滝沢社協登録のボランティア活動団体	交付件数 6件 交付額 148,600円
	主な活動内容：ボランティア活動に要する経費

### ② 地域福祉活動推進体制の強化（福祉協力員の配置）

社会福祉協議会事業への参加協力と地域福祉活動推進のため、民生児童委員OBの有志を事業協力員として30名を配置しました。又、地域福祉推進員のあり方については、引き続き検討を進めます。

### ③ 福祉関係団体事務受託

地域福祉の重要な担い手である各種福祉関係団体の活動を支援しました。

事務受託団体 5団体	民生児童委員連絡協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、遺族会、民生児童委員OB会
---------------	--

### ④ 福祉関係団体への活動協力・支援

地域福祉の重要な担い手である各種福祉関係団体の活動を支援しました。

協力・支援団体	さわやか友の会（一人暮らし高齢者）、認知症の人と家族の会、手をつなぐ育成会、カッコウの会（精神保健福祉会）
---------	---

### ⑤ 滝沢市市民福祉センター管理運営（滝沢市指定管理事業）

滝沢市市民福祉センターの指定管理者として、より市民に親しまれる施設を目指し、運営委員会や自主事業を開催しながら適切な施設運営に努めました。

利用件数・利用者数	1,511件 28,867名
【内訳】	
会議室利用件数：1,511件	内、土日祝祭日利用件数41件、夜間利用件数51件
会議室利用人数：17,969名	元気館利用人数：3,446名
ヘルストロン利用人数：5,539名	風呂利用人数：1,913名

### ⑥ 滝沢市市民福祉センター自主事業

指定管理者の自主事業を下記のとおり実施しました。

繭クラフト講習会（新規）	開催回数：1回 参加者：14名
クリスマスリース作り講座	開催回数：1回 参加者：12名
みそ作り入門講座	開催回数：1回 参加者：26名
きりせんしょの作り方講座	開催回数：1回 参加者：22名
その他	自動販売機を2台設置

## 4. 組織づくり（中期経営計画）「地域福祉を推進するための基盤強化を図ります」

### （1）社会福祉協議会の充実強化に向けて

#### ① 会員制度の充実

会員として参画する世帯・事業所・福祉施設・福祉団体の確保等、組織の充実・強化に向けて努力しました。

世帯会員	12,546件	6,284,410円
賛助会員	98件	121,000円
特別会員	67件	750,000円
施設会員	42件	210,000円
団体会員	4件	20,000円
合計	12,757件	7,385,410円

#### ② 理事会、評議員会等の適正開催

別記のとおり。

#### ③ 監事監査の実施

別記のとおり。

#### ④ 財政基盤の強化

主に滝沢市内の個人・団体等から頂戴した寄附金を、寄附者の意向に沿って事業費や福祉基金の造成に充て、財政基盤の強化を図りました。

【事業への寄附】			
寄附件数	34件	寄附金額	1,301,751円
【福祉基金寄附】			
寄附件数	8件	寄附金額	630,087円
基金現在額（令和7年3月31日現在） 127,284,674円			

#### ア 寄附付き自動販売機設置事業

売り上げの一部が滝沢市社会福祉協議会に寄附され、地域福祉活動の財源に充当される寄附付き自動販売機の設置を進め、地域福祉を担う民間団体である滝沢市社会福祉協議会としての理解促進と地域福祉活動の充実を図りました。

設置台数	18台
寄附金額	264,403円

#### ⑤ 福祉基金の活用と基金目標額の適正設定

福祉基金の目標額1億5千万円に向けて、運用益、繰替使用等に活用しながら、引き続き基金造成を図りました。

福祉基金の目標額	現在高（令和6年度末）
150,000,000円	127,284,674円

本会が行う委託事業において、委託費の前金払いの遅れにより当該事業の運転資金を必要としたため、福祉基金の繰替使用を実施しました。

受託事業名	委託元	契約額	繰替使用額	繰替実施日
日常生活自立支援事業	岩手県社会福祉協議会	4,546,000円	2,000,000円	4月9日

福祉基金の利息は、福祉社会を創る市民の自主的活動資金として、地域福祉活動助成事業に充当しています。

#### ⑥ 共同募金運動への協力

共同募金運動が「地域福祉の推進」を目的として、地域の福祉課題の解決に向けた民間福祉活動を支援する運動であることから、運動推進に積極的に協力しました。

【赤い羽根共同募金】					
目標額	7,400,000円	募金実績額	6,448,788円	達成率	87.1%
【歳末たすけあい募金】					
目標額	7,000,000円	募金実績額	6,432,892円	達成率	91.9%

#### ⑦ 社会福祉協議会組織の強化

正職員の増員協議は引き続き取り組みます。嘱託職員については、有期雇用契約を更新し雇用の安定を図りました。

事務局長	1名
正規職員	6名
嘱託職員	15名
臨時職員	1名

**⑧ 人材育成及び研修事業への参加**

役職員の資質向上や今後の社協運営・事業実施の糧とするため、各種研修事業へ積極的に参加するように職員に促しました。

## ○岩手県央地区民生児童委員協議会研修会

- ・参加者 常務理事、柳田次長、平藤主任主査、白藤主任、村田福祉団体活動指導員
- ・開催日 5月31日
- ・場 所 ビッググループ滝沢

## ○第1回子育て支援指導者向け研修会

- ・参加者 岩協ファミリーサポートセンターアドバイザー
- ・開催日 6月11日
- ・場 所 アイーナ

## ○滝沢中部地区民生児童委員協議会視察研修

- ・参加者 村田福祉団体活動指導員
- ・開催日 6月18日
- ・場 所 一戸町

## ○生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

- ・参加者 白藤主任、中野自立相談支援業務相談員、安保自立相談支援業務相談員、小泉家計支援業務相談員、藤井生活福祉資金貸付相談員
- ・開催日 6月20日
- ・場 所 ふれあいランド岩手

## ○市町村民生児童委員協議会担当者研修

- ・参加者 村田福祉団体活動指導員
- ・開催日 6月20日
- ・場 所 ふれあいランド岩手

## ○生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

- ・参加者 藤井生活福祉資金貸付相談員
- ・開催日 6月21日
- ・場 所 ふれあいランド岩手

## ○福祉サービスの苦情を考えるセミナー

- ・参加者 柳田次長
- ・開催日 7月3日
- ・場 所 アイーナ

## ○滝沢北部地区民生児童委員協議会視察研修

- ・参加者 村田福祉団体活動指導員
- ・開催日 7月18日
- ・場 所 岩手県立総合防災センター

## ○市町村共同募金委員会職員研修会

- ・参加者 平藤主任主査
- ・開催日 7月26日
- ・場 所 ふれあいランド岩手

## ○ILC「SCカフェ」研修（オンライン）

- ・参加者 晴山主査、赤石生活支援コーディネーター
- ・開催日 7月30日
- ・場 所 滝沢市役所

## ○県央地区社協連絡協議会職員研修会

- ・参加者 佐藤会長、高橋常務理事、柳田次長、平藤主任主査、白藤主任

- ・開催日 8月1日
- ・場 所 滝沢ふるさと交流館
- 社会福祉法人会計実務講座（入門コース）
  - ・参加者 神作主事
  - ・開催日 8月1日～3日
  - ・場 所 ロフォス湘南
- 日常生活自立支援事業専門員研修会
  - ・参加者 下田日常生活自立支援事業専門員
  - ・開催日 8月20日～21日
  - ・場 所 岩手教育会館
- 第2回子育て支援指導者向け研修会
  - ・参加者 岩脇ファミリーサポートセンターアドバイザー
  - ・開催日 8月21日
  - ・場 所 アイーナ
- 県央地区社協連絡協議会災害ボランティアセンター設置・運営に係る研修訓練
  - ・参加者 柳田次長
  - ・開催日 8月30日
  - ・場 所 葛巻町
- 滝沢中部地区民生児童委員協議会視察研修
  - ・参加者 柳田次長
  - ・開催日 10月1日～2日
  - ・場 所 久慈市、八戸市
- 第3回子育て支援指導者向け研修会
  - ・参加者 岩脇ファミリーサポートセンターアドバイザー
  - ・開催日 10月7日
  - ・場 所 アイーナ
- 滝沢北部地区民生児童委員協議会視察研修
  - ・参加者 村田福祉団体活動指導員
  - ・開催日 10月17日～18日
  - ・場 所 大館市
- 社会福祉法人会計実務講座（初級コース）
  - ・参加者 神作主事
  - ・開催日 10月17日～19日
  - ・場 所 ロフォス湘南
- 滝沢南部地区民生児童委員協議会視察研修
  - ・参加者 村田福祉団体活動指導員
  - ・開催日 10月21日～22日
  - ・場 所 山形市
- 第4回子育て支援指導者向け研修会
  - ・参加者 岩脇ファミリーサポートセンターアドバイザー
  - ・開催日 11月19日
  - ・場 所 アイーナ
- 生活支援コーディネーター養成オンライン研修
  - ・参加者 赤石生活支援コーディネーター
  - ・開催日 11月26日
  - ・場 所 滝沢市市民福祉センター

- 岩手県央地区民生児童委員協議会研修会
  - ・参加者 柳田次長
  - ・開催日 11月27日～28日
  - ・場 所 ホテル大観
- 岩手県社会福祉協議会市町村社協部会地域福祉活動先進地視察研修
  - ・参加者 佐藤会長
  - ・開催日 11月27日～29日
  - ・場 所 福岡県福岡市、福智町
- 日常生活自立支援事業専門員・生活支援員研修会
  - ・参加者 平藤主任主査、下田日常生活自立支援事業専門員
  - ・開催日 12月3日
  - ・場 所 アートホテル盛岡
- 生活困窮者自立相談支援事業北海道・東北ブロック研修
  - ・参加者 中野自立相談支援業務相談員、安保自立相談支援業務相談員
  - ・開催日 12月5日
  - ・場 所 マリオス
- 災害ボランティアセンターマネジメント研修
  - ・参加者 柳田次長、神作主事
  - ・開催日 12月9日～10日
  - ・場 所 ふれあいランド岩手
- 日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会
  - ・参加者 下田日常生活自立支援事業専門員
  - ・開催日 12月19日～20日
  - ・場 所 全国社会福祉協議会
- 子ども虐待対応多層多職種研修
  - ・参加者 岩脇ファミリーサポートセンターアドバイザー
  - ・開催日 12月25日
  - ・場 所 ふるさと交流館
- 講演会「気付いていましたか？子供って凄いですよ！」～みんなちがってみんないいの前に～
  - ・参加者 岩脇ファミリーサポートセンターアドバイザー
  - ・開催日 1月17日
  - ・場 所 ハレルヤ保育園
- 地域福祉トップセミナー
  - ・参加者 高橋常務理事
  - ・開催日 2月5日
  - ・場 所 盛岡八幡宮
- エンディング支援講座
  - ・参加者 会長、常務理事、柳田次長、平藤主任主査、赤石、杉澤
  - ・開催日 2月19日
  - ・場 所 ふるさと交流館
- 滝沢市・雫石町ボランティア団体情報交換会
  - ・参加者 柳田次長
  - ・開催日 3月5日
  - ・場 所 雫石町総合福祉センター
- NPO法人やまぼうしネットワーク スローショッピングに関する意見交換会及び講演会
  - ・参加者 柳田次長
  - ・開催日 3月22日
  - ・場 所 ふるさと交流館

**⑨ 関係機関との連携強化に向けた交流・情報交換**

各種会議への出席や事業への参加を通し、市、市内福祉施設、団体その他関係機関との連携を図り、福祉活動の推進に努めました。

市との連絡会	8回
地域ネットワーク会議	3回
地域ケア会議（推進会議、個別会議）	6回
滝沢市自殺予防対策連絡協議会	1回
認知症初期集中支援チーム検討委員会	1回
生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議	12回

**⑩ 総合福祉センター（仮称）の建設促進**

市地域福祉課と情報共有を図りながら、センターに必要な施設・機能や他市町村の状況等についての情報収集を行いました。また、滝沢市議会環境厚生常任委員会政策討論会（令和6年11月11日）に出席し、総合福祉センターの必要性を訴えました。